

# 令和2年第3回

おいらせ町議会定例会

会議録第4号

おいらせ町議会 令和2年第3回定例会記録

おいらせ町議会 令和2年第3回定例会記録				
招集年月日	令和2年9月10日(木)			
招集の場所	おいらせ町役場本庁舎議場			
開会	令和2年9月10日 午前11時57分 議長宣告			
閉会	令和2年9月10日 午後0時15分 議長宣告			
応招議員	議席番号	氏名	議席番号	氏名
	1番	佐々木 勝	2番	澤上 勝
	3番	馬場 正治	4番	澤上 訓
	5番	木村 忠一	6番	田中正一
	7番	日野口 和子	8番	平野 敏彦
	9番	沼端 務	10番	吉村 敏文
	11番	澤頭 好孝	12番	柏崎 利信
	13番	西館 芳信	14番	松林 義光
	15番	樽山 忠	16番	西館 秀雄
不応招議員	なし			
出席議員	14名			
欠席議員	6番	田中正一	7番	日野口 和子
地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	職名	氏名	職名	氏名
	町長	成田 隆	副町長	小向 仁生
	総務課長	西館 道幸	政策推進課長	柏崎 勝徳
	財政管財課長	岡本 啓一	まちづくり防災課長	成田 光寿
	税務課長	福田 輝雄	町民課長	澤頭 則光
	保健こども課長	小向 正志	介護福祉課長	田中 淳也
	農林水産課長	三村 俊介	商工観光課長	久保田 優治
	地域整備課長	泉山 裕一	会計管理者	佐々木 拓仁
	病院事務長	田中 貴重	教育委員会教育長	松林 義一
	学務課長	柏崎 和紀	社会教育・体育課長	松山 公士
	選挙管理委員会事務局長	西館 道幸	農業委員会事務局長	三村 俊介
	監査委員	木村 忠一	監査委員事務局長	赤坂 千敏

本会議に職務のため出席した者の職氏名	事務局 長	赤坂千敏	事務局 次長	高橋勝江
	主任 主査	袴田光雄		
町長提出議案の題目	1 認定第1号	令和元年度おいらせ町一般会計歳入歳出決算認定について		
	2 認定第2号	令和元年度おいらせ町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		
	3 認定第3号	令和元年度おいらせ町奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について		
	4 認定第4号	令和元年度おいらせ町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について		
	5 認定第5号	令和元年度おいらせ町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について		
	6 認定第6号	令和元年度おいらせ町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について		
	7 認定第7号	令和元年度おいらせ町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		
	8 認定第8号	令和元年度おいらせ町病院事業会計決算認定について		
	9 陳情第5号	後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書提出の陳情書についての審査結果報告		
	10 陳情第6号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出についての審査結果報告		
議員提出議案の題目	11 発議第2号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書について		
開 議	午前11時57分			
議 事 日 程	議長は、本日の議事日程を次のとおり報告した。(別添付)			
会議録署名議員の指名	議長は、会議録署名議員に次の2名を指名した。			
	8 番 平 野 敏 彦 議 員			
	1 0 番 吉 村 敏 文 議 員			

議 案 の 経 過		
日 程	発 言 者	発 言 者 の 要 旨
会議成立 開議宣告	事務局長 (赤坂千敏君)	修礼を行いますので、ご起立願います。 礼。ご着席ください。
	西館議長	ただいまの出席議員数は14人です。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。  (開会時刻 午前11時57分)
	西館議長	なお、7番日野口議員は欠席であります。
	西館議長	これより議事に入ります。
	西館議長	日程第1、認定第1号、令和元年度おいらせ町一般会計歳入歳出決算認定についてから、日程第8、認定第8号、令和元年度おいらせ町病院事業会計決算認定についてまで、以上8認定議案を一括議題とします。 お諮りします。 認定第1号から認定第8号までに対する委員長報告は、会議規則第41条第3項の規定によって省略したいと思います。 ご異議ありませんか。
	(議員席)	**なしの声**
	西館議長	異議なしと認めます。 したがって、委員長報告は省略することに決定しました。 これより認定第1号から認定第8号までの8認定議案について、一括して質疑を行います。 質疑ございませんか。
	(議員席)	**なしの声**
西館議長	なしと認め、質疑を終わります。 これから討論を行います。	

委員長報告	(議員席)	初めに、原案に反対する者の討論を許します。 討論ありませんか。 <b>**なしの声**</b>
	西館議長	なしと認め、討論を終わります。 これより認定第1号から認定第8号までの8認定議案を一括して採決します。 お諮りします。 本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。
	(議員席)	<b>**なしの声**</b>
	西館議長	異議なしと認めます。 よって、認定第1号から認定第8号まで原案のとおり可決されました。
	西館議長	日程第9、陳情第5号、後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書提出の陳情についてを議題といたします。 審査を付託しておりました産業民生常任委員会の委員長から審査が終了した旨の報告がありましたので、委員長より報告を求めます。 委員長、演壇にてお願いします。 西館芳信委員長。
	13番 (西館芳信君)	産業民生常任委員会委員長報告をいたします。 陳情第5号、後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める意見書提出の陳情書については、産業民生常任委員会に付託されたところであります。当委員会では、その付託を受け、去る9月3日に委員会を開催し、その取扱いについては慎重な審査を行いました。 陳情の趣旨は、高齢者の医療について、一定所得以上の人は医療費の窓口負担を2割とする法制上の措置が講じられようとしており、後期高齢者が必要な医療を受けられる機会の確保という観点から、窓口負担については現状維持が必要と考え、国に対し意見書を提出していただきたいというものです。 審査の結果、団塊の世代が75歳の年齢に達し、医療や介護な

		<p>どの社会保障費の急増が懸念される2025年問題を踏まえ、ますます加速化するスーパー超高齢社会に対応すべく、現行制度の見直しはやむを得ない。改革しなければ高齢者医療制度崩壊の危機を招き、維持・存続が困難になると考え、当委員会としましては不採択すべきものと決定しました。</p> <p>以上、産業民生常任委員会委員長の報告といたします。</p> <p>産業民生常任委員長の報告が終わりました。</p> <p>本件について、委員長報告は不採択であります。</p> <p>この報告について質疑を行います。</p> <p>質疑ございませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
西館議長	(議員席)	<p>なしと認め、本件に対する質疑を終わります。</p> <p>これから討論を行います。</p> <p>初めに、原案に反対する者の討論を許します。</p> <p>討論ありませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
西館議長	(議員席)	<p>なしと認め、討論を終わります。</p> <p>本件に対する委員長の報告は不採択です。</p> <p>したがって、原案について採決します。</p> <p>陳情第5号は原案のとおり、つまり委員長報告のとおり決定することにご異議ありませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p>
西館議長		<p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、陳情第5号は原案のとおり可決されました。</p>
西館議長		<p>日程第10、陳情第6号、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出についてを議題といたします。</p> <p>審査を付託しておりました総務文教常任委員会の委員長から審査が終了した旨の報告がありましたので、委員長より報告を求めます。</p>

<p>委員長報告</p>	<p>8 番 (平野敏彦君)</p>	<p>委員長、演壇にてお願いします。 平野敏彦委員長。</p> <p>総務文教常任委員会委員長報告をいたします。 陳情第 6 号、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出を求める陳情については、総務文教常任委員会に付託されたところであり、当委員会では、その付託を受けて、去る 9 月 3 日に委員会を開催し、その取扱いについて慎重な審査を行いました。 陳情の趣旨は、新型コロナウイルス感染症の拡大で、地方税・地方交付税の大幅な減少等により、今後の地方財政はかつてない厳しい状況になることが予想され、地域の実情に応じた行政サービスを安定的かつ持続的に提供していくためにも、地方税・地方交付税等の一般財源総額の確保・充実を国会・関係行政庁に対し強く求めるため意見書を提出するものであります。 審査の結果、趣旨に賛同し、当委員会といたしましては採択すべきものと決定いたしました。 以上、総務文教常任委員会委員長の報告といたします。</p>
	<p>西館議長  (議員席)</p>	<p>総務文教常任委員長の報告が終わりました。 本件について、委員長報告は採択であります。 この報告について質疑を行います。 質疑ございませんか。 <b>**なしの声**</b></p>
	<p>西館議長  (議員席)</p>	<p>なしと認め、本件に対する質疑を終わります。 これから討論を行います。 初めに、原案に反対する者の討論を許します。 討論ありませんか。 <b>**なしの声**</b></p>
	<p>西館議長</p>	<p>なしと認め、討論を終わります。 本件に対する委員長の報告は採択です。 したがって、原案について採決します。 陳情第 6 号は原案のとおり、つまり委員長報告のとおり決定す</p>

		ることにご異議ありませんか。
	(議員席)	***なしの声***
	西館議長	異議なしと認めます。 よって、陳情第6号は原案のとおり可決されました。
	西館議長	追加提案の準備がありますので、ここで暫時休憩いたします。 ご着席のまま休憩をお願いします。
		(休憩 午後 0時05分)
	西館議長	休憩を取り消し会議を再開いたします。
		(再開 午後 0時07分)
	西館議長	先ほど、陳情第6号の採択に関連して、総務文教常任委員会の委員長から、発議第2号、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について、委員会発議が提出されました。 お諮りします。 提出のありました発議第2号を本日の議事日程に追加し、議題にしたいと思います。これにご異議ありませんか。
	(議員席)	***なしの声***
	西館議長	異議なしと認めます。 よって、発議第2号は追加日程第1として議題とすることに決定しました。
	西館議長	追加日程第1、発議第2号、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出についてを議題といたします。 提出者であります平野敏彦総務文教常任委員長から提案理由の説明を求めます。 委員長、演壇にてお願いします。 平野敏彦総務文教常任委員長。





日程終了の告知	西館議長  (議員席)	なしと認め、討論を終わります。 これから発議第2号について採決をいたします。 本件は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。  **なしの声**
	西館議長	異議なしと認めます。 よって、本案は原案のとおり可決されました。
	西館議長	以上で、本定例会の会議に付された事件は全て議了いたしました。 ここで、町長から発言したい旨の申し出がありましたので、これを許します。演壇にてお願いします。  町長。
	町長 (成田 隆君)	令和2年第3回おいらせ町議会定例会におきまして、議員各位には、大変ご多用中のところ、そしてまたお暑い中をご参集いただき、提案いたしました令和元年度各会計決算の認定をはじめ全ての議案について議決賜り、厚く御礼申し上げます。 議案審議の過程でいただきましたご意見、ご提言を十分に踏まえ、今後の町政運営に努めてまいりたいと思っております。 さて、例年であれば「百石まつり」、そして「下田まつり」が盛大に開催され、子供たちが奏でるおはやしと、元気な掛け声が町内に響きわたる季節でありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響のため、山車運行やパレードなどの祭り・イベントが中止となりました。この祭り・イベントを楽しみにしていた皆様はもとより、私も大変残念であります。来年のこの時期には、祭り・イベントが開催できるよう、新型コロナウイルス感染症の収束を願うとともに、私ども行政としても、引き続き感染症防止対策に十分な注意を払い、行政サービスを提供してまいります。 また、先般の議員全員協議会でもご説明しておりますが、合併以来の懸案事項であり、そして我々の長年の悲願でもあった、町独自の都市計画制度について、令和3年4月の開始に向け、今月17日と18日に、町内4か所で住民説明会を開催することとなります。大規模な土地利用制度の見直しとなることから、住民への丁寧な説明でご理解を求めていきたいと考えております。



会議の経過を記載し、その相違ないことを証するためにここに署名する。

令和2年11月5日

議 長 西 舘 秀 雄

副 議 長 檜 山 忠

署名議員 吉 村 敏 文

署名議員 平 野 敏 彦

署名議員 日 野 口 和 子